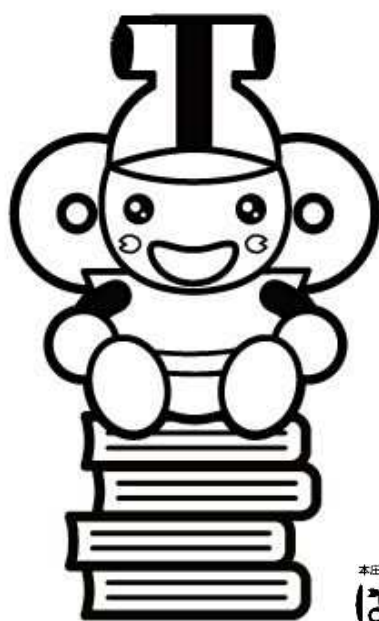


# 令和7年度 図書館要覧



本庄市マスコット  
はにぼん

本庄市立図書館

# 目 次

運営の基本方針・組織・機構	1
図書館の予算	2
図書館のあゆみ	3
利用の手引き	6
施設ガイド	7
移動図書館	12
郷土資料の特色	13
令和6年度事業報告	14
文芸講演会の記録	15
統 計	17
令和6年度貸出ベストリーダー	22
令和7年度雑誌リスト	24
令和7年度新聞リスト・図書館案内図	26
本庄市立図書館設置及び管理に関する条例	27
本庄市立図書館運営規則	29
本庄市立図書館協議会会議規則	31
図書館協議会委員	32

# 令和7年度 運営の基本方針・組織・機構

市民の文化的要望に応えるため、図書館資料や情報の整備・充実に努め、生涯学習施設として市民が気軽に利用できる図書館をめざす。

## 重点施策

### I 図書館の整備と充実

- ① 図書館利用者の増加と蔵書の充実に努める。
- ② 施設の特性を活かした効果的な活用と利用促進を図る。
- ③ 安全・安心のための設備の点検と整備を推進する。

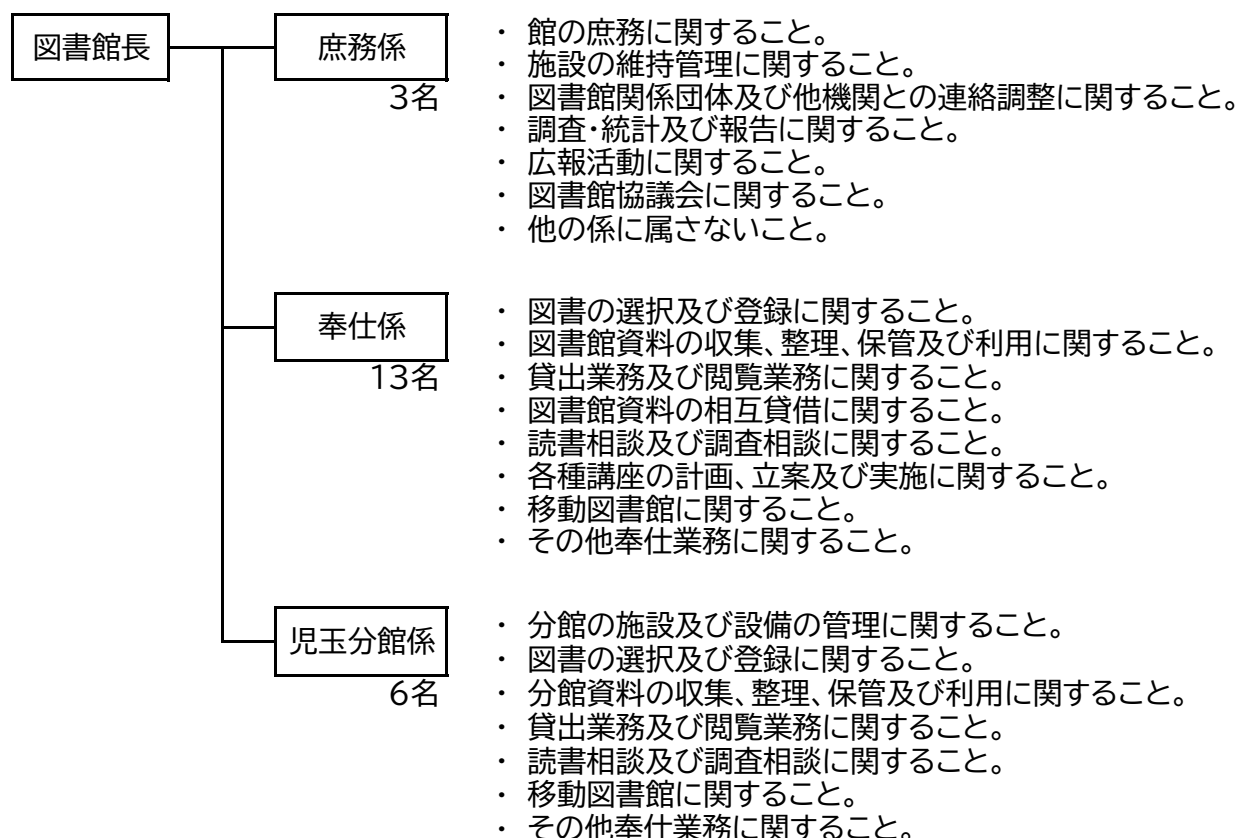
### II 図書館サービス網の確立

- ① 学校図書館や関係機関との連携を図り、広域利用や相互協力を推進する。
- ② 読書グループやボランティア団体の育成を図り、団体貸出を推進する。

### III サービス業務の充実

- ① レファレンスサービスをはじめ、幼児、児童、青少年向けサービスの充実を図る。

## 組織・機構



# 図書館の予算

## (1) 図書館費の当初予算

(単位：千円)

	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
市予算（一般会計）	33,703,000	31,954,000	30,392,000	28,847,000	28,313,000
教育費	3,564,947	3,838,277	3,455,932	2,830,401	2,983,486
図書館費	72,086	95,108	85,175	80,188	76,028

## (2) 図書館費の当初予算の内訳

(単位：千円)

	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
図書館費	72,086	95,108	85,175	80,188	76,028
報酬	75	5,445	3,346	3,222	3,134
報償費	292	292	296	296	296
旅費	50	175	137	149	125
需用費	9,858	10,324	10,280	9,078	10,285
役務費	9,737	9,462	9,729	9,449	6,551
委託料	10,052	8,106	8,268	8,982	7,753
使用料及び賃借料	7,674	7,706	7,657	7,264	4,551
工事請負費	0	0	0	0	0
公有財産購入費	0	0	0	0	0
公課費	72	0	57	0	0
備品購入費（図書費）	14,267	14,268	14,257	14,295	13,725
備品購入費（図書以外）	19,972	547	468	440	0
負担金補助及び交付金	37	37	37	37	37
給料・職員手当等・共済費	39,956	38,746	30,643	26,976	29,571

## (3) 市民1人当たり資料予算

(単位：円)

資料費	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
市民1人当たり資料予算	217	214	209	209	200

# 図書館のあゆみ

年月日	事項
昭和25.9.1	本庄小学校醇風館内に本庄公民館が設置され、図書部が置かれる。 蔵書数、約2,000冊。
26.10.31	本庄公民館に埼玉県立図書館本庄分館を併設。
29.7.1	市制執行により本庄市となる。
33.4.1	本庄市立図書館を設置し図書館業務を開始。 (旧本庄警察署内に本庄公民館と併設される。)
36.5	図書館協議会発足。
42.7.1	北原読書会が西小学校地域読書会として発足。以後、地域に波及。
44.4	「図書館だより」を「市政だより」の一隅に掲載。
45.1	本庄市良い本を読む運動推進委員会発足。 「家庭と読書」創刊。
45.10	第1回文学散歩“秋の信濃路”実施。
46.1.20	旧国保病院跡を改修し、独立館となる。蔵書数、19,206冊。
47.1	「母と子の部屋」を設置する。
48.4	本庄市読書会連絡協議会発足。
49.7	本庄市読書会児童文庫が、久々宇、仁手、千代田に開所し配本を開始。
49.11.2	本庄市読書会連絡協議会が社団法人読書推進運動協議会より第4回読書推進賞を受賞する。
49.11	古典講座「蜻蛉日記」開始。講師、坂上勇太郎氏。
52.4	本庄東地区市民センターに「ミニ文庫」開設。
52.12.28	石川三四郎翁顕彰碑(若泉第二公園内)完成。
53.7	本庄西地区、本庄南地区市民センターに「ミニ文庫」開設。
53.10	石川三四郎遺族より、蔵書3,000冊が寄贈される。
54.9.1	石川三四郎記念室(旭山文庫)創設。
55.7	本庄藤田地区市民センターに「ミニ図書室」設置。
55.7	新図書館工事のため、西小学校校庭内に仮設図書館を設置し移動。
55.9.1	本庄市立図書館新築工事着工。
55.12	「本庄付近のむかしばなし」刊行。
56.11.10	本庄市立図書館新館落成。
57.1	石川三四郎コーナー設置。
57.4	本庄旭地区市民センターに「ミニ図書室」設置。
57.10	こども1日図書館員企画。「ふるさと文庫」コーナーを設置。緑陰図書館開始。
57.8.~10	「復刻版・初版本で見る日本近代文学史展」開催。
59.7.18	パソコンによる図書館システム稼働。
59.10	第2回地方公共団体PC大会において「本庄市立図書館システム」が優秀賞を受賞。
59.11	市制施行30周年記念事業特別展「戸谷文庫と文人展」開催。
60.3	「21世紀の時の旅人未来ちゃん」を図書館前庭に埋設。
60.10	移動図書館車による運行開始。(軽貨物自動車、約300冊積載) 藤田、北泉公民館、南小、寿楽園、4ヶ所を運行。
61.5.29	本庄市立図書館の広報紙「家庭と読書」が昭和60年度埼玉県市町村教育委員会広報紙コンクールで優秀賞を受賞。
63.5	「絵本原画展」開催。
63.9	移動図書館車の愛称が公募により「もくせい号」に決定。
平成 元.2.3	新移動図書館車による運行開始。(26人乗りマイクロバス改造車、約3,000冊積載)市内12ヶ所を運行。
元.5	「飛び出す絵本展」開催。

年月日	事項
平成元 10	市制施行35周年記念「ふるさと文庫展」開催。
3.2	オフィスコンピューターによる図書館システム導入。
3.5	復刻童話雑誌展「おとぎの世界」開催。
3.10～11	「本庄まつり版画原画展」、市内小学生対象「読書感想画展」開催。
4.5	「世界の絵本展」開催。
4.10～11	一周忌追悼「昭和の黙阿弥・宇野信夫展」、読書感想画展」開催。
4.10～11	「海外コレクション絵本展」開催。
6.11	「図書館音楽のタバ・チェロコンサートと朗読」開催。
7.10～11	「こどもたちの絵本展」開催。
7.11.10	本市市読書会連絡協議会が本市市長より教育文化功労賞受賞(市政功労表彰)。
8.1	クライアント・サーバ方式による図書館システムLics-R導入。
8.10～11	「こどもたちの絵本展」開催。「早稲田大学図書館所蔵明治期図書展」開催。
9.11	閉架室移動書架工事完成。
10.12.16	石川三四郎遺族より寄付金650万円受入。
11.4.1	児玉郡市広域市町村圏内広域利用開始。開館時間変更(午前9時30分～午後6時まで)
12.3	「石川三四郎資料目録」刊行。
12.5	「図書館だより」を「広報ほんじょう」の一隅に掲載。
12.12	図書館 システムLics-RⅡ 導入。
13.4.1	児玉郡市内図書館の他に岡部町を含めた広域利用開始。
13.4.1	Webハウジングによる蔵書検索用ホームページを開設。
13.7.1	インターネットによる発注・MARK等業務上の活用を図る。
13.9.6	移動図書館車「もくせい号」の巡回場所として前原、日の出童センターの2カ所を増設する。計12ヶ所。
13.10～11	図書館設立20周年記念展「知っていますか？ふるさとの人物展」開催。
14.9	ブックスタート準備事業開始。保健センターにて「読み聞かせ」と「利用案内」配布
14.10～11	「ゾルゲ事件って何？映画『スパイ・ゾルゲ』と関連資料展」開催。
15.4.1	ディーゼル車の排気ガス規制により、移動図書館車「もくせい号」が廃車につき、軽貨物自動車ミニ移動図書館車として9ヶ所運行。
15.11	「この本よんだ？親から子へ語り継がれる図書展」開催。
16.11	図書館読書週間企画展「あの人が書いた本！～本庄ゆかりの人たちの著作展」開催。
17.4	ブックスタート事業開始(絵本入りパックの配布は11月から)。
17.11.8～21	「明日、ふるさとになる町<児玉>展」開催 写真パネル等児玉関係資料等を展示。
18.1.10	本市市・児玉町合併。本市市立図書館が本館、児玉町立図書館が児玉分館となる。
18.10.1	図書館システムLOOKS21/P 導入。本庄本館と児玉分館のシステム統合。 インターネットによる予約受付開始。
18.11.7～19	「こんな凄い偉人がいた『日本の良心』と呼ばれた男 石川三四郎展」開催。
19.11.7～18	「ふるさとが生んだ盲目の国学者 塙保己一展」開催。
20.11.8～18	「朔風の詩人 高橋秀一郎展」開催。
21.7	新移動図書館車(約1,500冊積載)の愛称が公募により「ほきいち号」に決定。
21.11.6～13	「企画展 ほきいち号がやってきた！夢を運ぶ移動図書館車展」開催。
21.11.10	「ほきいち号」による運行開始。市内13ヶ所を運行。
22.11.17～28	「本庄ゆかりの文芸雑誌展」開催。
23.3.11～4.14	東日本大震災発生(23.3.11)及びその後の計画停電に伴い、開館時間を午前9時30分から午後5時までに変更。
23.11.16～27	本館30周年記念展「知っていますか、ふるさとの文学—詩とエッセイと本庄—」開催。
24.10.12～21	企画展「埼玉文芸賞と本庄」開催。
25.11.12～17	企画展「写真で見る石川三四郎の生涯」開催。
26.6.18	本館大規模改修工事の設計を委託(～27.3.30)

平成26.10.19～11.2	企画展「蕪市場と山車」開催。
26.11.1～22	企画展「図書館員が選んだ子どもの本」開催。
27.9.19	本館大規模改修工事着工。
27.11.4	本館大規模改修工事のため、旧いまい台交流センターに仮図書館を開設。(～28.10.14)
28.10.31	本館耐震補強工事竣工。
29.1.21	本館リニューアルオープン。休日開館を実施。
29.7.1	図書館システムリプレイスによりADWORLDへ移行。
29.7.20	本館、木・金曜日午後8時まで時間延長。(試行)
29.11.14～24	企画展「中山道と本庄宿」～絵図から見る今と昔～ 開催。
30.4.1	雑誌スポンサー制度導入。
30.11.1～29	企画展「宮沢賢治の世界」開催。
令和元.9.4～29	企画展示「トルコ共和国ってどんな国？」開催。
元.11.1～12.1	企画展「資料に見る 本庄のすがた」～江戸・明治・大正・昭和～ 開催。
2.4.6	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置により臨時休館。
～2.6.1	(児玉分館は 4/6～6/15 まで臨時休館。移動図書館車は 4/6 運行休止し 9/1 再開)。
2.4.23	本庄市立図書館が「子供の読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣表彰を受賞。
2.11.5～29	本館、「埼玉誕生 150 周年記念」(埼玉県事業)に合わせ「ふるさと文庫」に所蔵する資料等を【魅力再発見・埼玉の本】として紹介。
2.11.5～29	本館、企画展「ポップアップ絵本の世界」と題し児童書を展示。
2.11.9	本庄おはなしの会連絡会が本庄市長より青少年健全育成成功労賞受賞(市政功労表彰)。
3.4.1	本館、貸出・返却等一部業務の時間延長を正式導入。(木・金曜日、午後 8 時まで開館)。
3.10.1～30	本館、企画展「14 ひきのねずみシリーズ」と題し、いわむらかずお氏の作品を展示。
3.11.3～28	本館、塙保己一没後 200 周年記念事業 企画展「塙保己一展」開催。
4.7.1	図書館システムリプレイスによりELCIELOへ移行
4.10.1～30	本館、企画展「14 ひきのねずみシリーズ」と題し、いわむらかずお氏の作品を展示。
4.11.2～30	本館、企画展「写真で見る備前堀」開催。
5.5.3～30	本館、こどもの読書週間特別展示として「こどものとも復刻版」を展示・貸出。
5.10.4～29	本館、企画展「写真で見る秩父事件」開催。
5.11.1～29	本館、「英語の本を見てみよう！」と題し、英語の絵本と日本語の絵本の同じ作品をセットで展示。
6.6.1	群馬県伊勢崎市在住者を貸出対象者に追加。
6.5.2～5.30	本館、「長く愛される本の世界」と題し、絵本を展示貸出。
6.10.2～10.30	本館、「本庄宿に栄えた文化～俳諧～」パネル展開催。
6.11.1～12.1	本館、「本の福袋コーナー」と題し、複数冊をセットにして貸出実施。
7.1.31	本館、「本庄高校生おすすめ本」の展示・貸出と POP の展示を開催。

# 利用の手引き

## はじめて本を借りる方へ

### ●利用者登録が必要です

登録できる方

- ・本庄市、美里町、神川町、上里町、深谷市、群馬県伊勢崎市にお住まいの方
- ・上記以外の地域から、本庄市内に通勤・通学している方
- ・本庄市内の学校・会社などで利用登録した団体

利用カード申込書に必要事項を記入し、カウンターへお出しください。登録が済むと図書館利用カードを発行いたします。

※氏名、住所が確認できる免許証やマイナンバーカードなどをお持ちください。

### ●貸出数・貸出期間

区分		貸出数	期間
本(雑誌、紙芝居を含む)	個人	10点以内	15日以内
	団体	50点以内	1月以内
CD、DVDなど	個人	1点	15日以内
	団体	—	—

### ●本の予約・リクエスト

- ・お探しの本が貸出中の場合は「予約」ができます。
- ・お読みにになりたい本を当館が所蔵していない場合は、「リクエスト」ができます。他館から借用したり、購入したり、できる限りご希望にお応えします。

### ●調べものは

- ・お気軽に職員へお尋ねください。国立国会図書館、県立図書館など全国の図書館の所蔵状況などを確認し、必要な資料を見つけるお手伝いをします。

### ●複写サービス

- ・本庄市立図書館が所蔵する資料に限り、必要なところを複写するサービス(有料)を行っています。
- ※著作権法により複写制限されるものもあります。



# 施設ガイド



## 本庄市立図書館 本館

建 物 / 延べ床面積 2778.74㎡

構 造 / 鉄筋コンクリート造 3階



## 本庄市立図書館 児玉分館

建 物 / 児玉文化会館セルディ内1階

面 積 / 図書館面積 408.91㎡

### ●開館時間

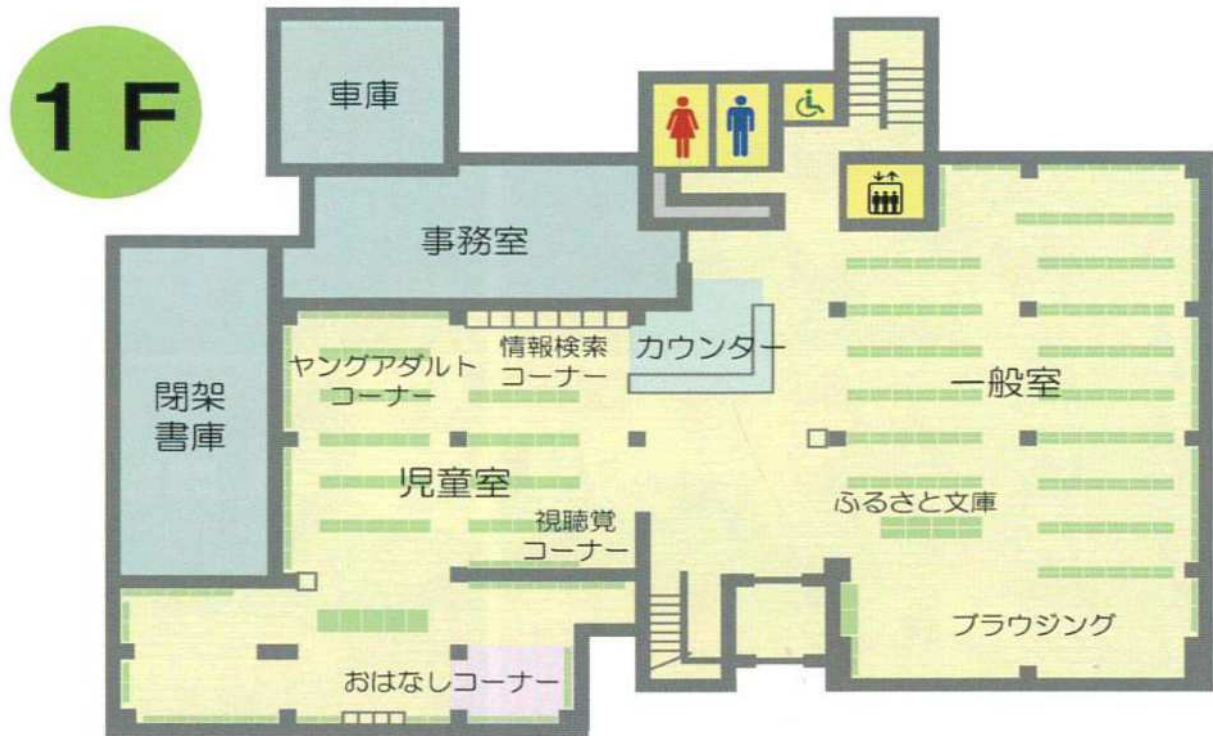
午前9時30分～午後6時15分

(本館のみ 木・金曜日 午前9時30分～午後8時)

### ●休館日

- ・月曜日(祝日の場合は開館し、翌平日を休館)
- ・12月を除く月末日(土・日・月曜日および祝日の場合は翌平日を休館)
- ・12月28日～1月4日
- ・特別整理期間

■本館の1階フロア



雑誌コーナー



約80タイトルの雑誌が並んでいます。最新刊以外は貸出ししています。

ふるさと文庫



本庄市・児玉郡を中心とした郷土の歴史や風土に関するもの、著作などを集めた書架です。

情報検索コーナー



設置されている端末で、インターネットサイトを閲覧することができます。

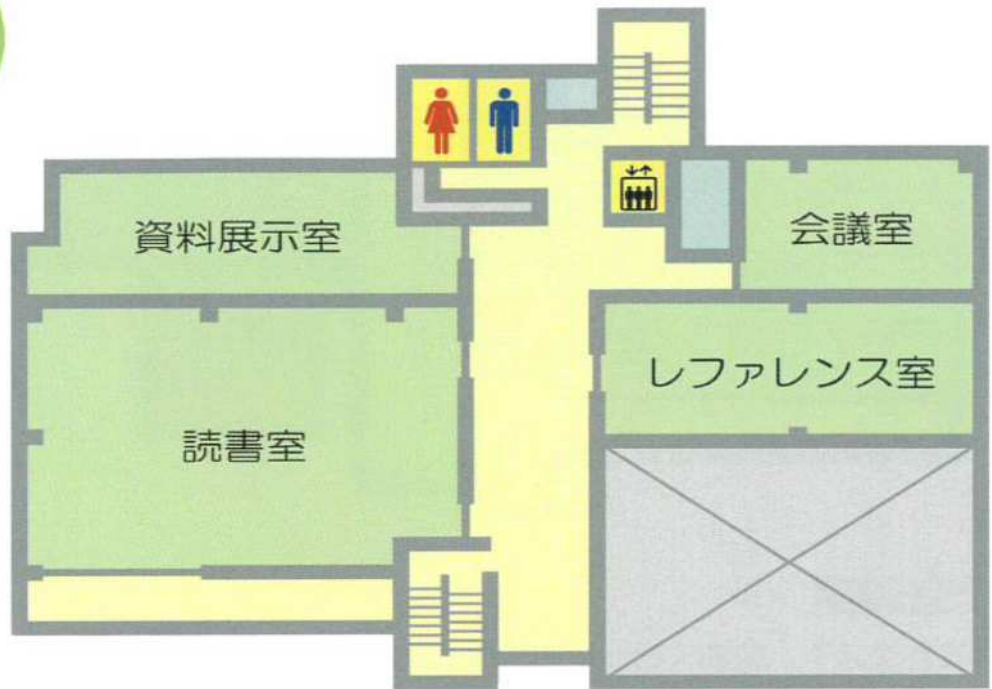
児童室(各種コーナー併設)



子ども達が絵本や児童書を手に取り、親しんでもらえるよう工夫された、木のぬくもりに満ちた空間です。

## ■本館の2階フロア

2F



資料展示室



本庄市出身の社会思想家、石川三四郎の資料を展示、保管しています。明治、大正、昭和の社会運動史を知る上で貴重な資料です。

読書室



静かな環境で読書や勉強、研究などに利用できます。キーボードや電卓の使用はできません。

レファレンス室



郷土資料をはじめ、行政資料、統計資料、辞書などが保管されています。職員が資料や参考図書のご案内や、調べもののお手伝いをいたします。

## ■本館の3階フロア

3 F

気軽に利用できる施設として、フロアがコミュニティーゾーンの機能を備えています。



多世代交流室



利用者同士の交流や公衆 Wi-Fi の利用ができます。

和室



靴を脱いでゆったり過ごせるスペースです。読み聞かせなどを楽しむことができます。

中高生活動室



中高生の活動や、展示・情報収集に利用できます。

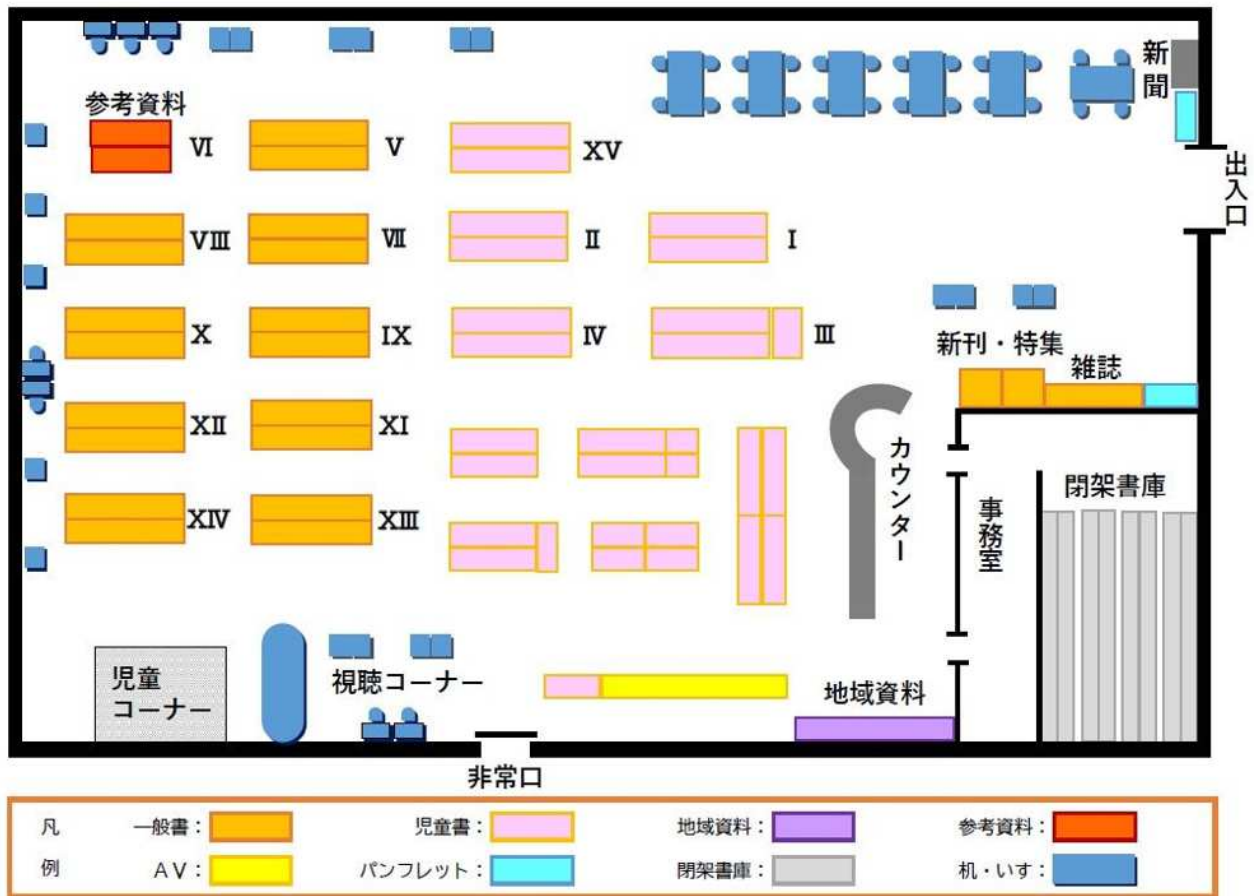
ウッドデッキ



天気の良い日にはウッドデッキで読書を楽しむなど、リラックススペースとして活用できます。

授乳やおむつ替えができる【赤ちゃんの駅】があります。

## ■ 児玉分館のフロア



児玉分館内



児童書架



絵本や紙芝居など自由に選ぶことができます。

児玉分館は、児玉文化会館(セルディ)内にある大きな窓が特徴的な開放感のある施設です。  
一般書架と児童書架が一緒の、アットホームな図書館です。

AVコーナー



CD、DVD を館内で視聴することができます。  
ご希望により貸出しもいたします。

# 移動図書館



## ■車両概要

名 称 ほきいち号  
 車 両 専用移動図書館車  
 積 載 冊 数 約1,500冊  
 (平成21年11月から運行)

## ■巡回周期

市内各小学校 12校 月1回

市内の小学校をサービスポイント(図書館サービスを受ける場所)として、本をお届けしています。

## ●貸出数

区分	貸出数
本(紙芝居を含む)	10点

児童図書・一般図書を載せて運行しています。

## ●貸出期間

借りたサービスポイントの次回巡回日まで。  
 返却は本館・児玉分館・はにぼんプラザのブックポストに返却することもできます。

## ●できること

図書の貸出・返却  
 リクエストや予約の受付  
 利用カード登録 など

## ●一般の方もご利用できます。

サービスポイント	訪問時間
本庄東小学校	13:10 ~ 14:10
本庄西小学校	12:50 ~ 13:50
藤田小学校	13:25 ~ 14:25
仁手小学校	13:15 ~ 14:15
旭小学校	12:55 ~ 13:55
北泉小学校	13:00 ~ 14:00
本庄南小学校	13:25 ~ 14:25
中央小学校	13:10 ~ 14:10
児玉小学校	12:55 ~ 13:55
金屋小学校	12:50 ~ 13:50
秋平小学校	13:10 ~ 14:10
共和小学校	13:00 ~ 14:00

訪問時間は変更になることがあります。



# 郷土資料の特色

## 石川三四郎資料

### 石川三四郎について

1876年(明治9年)～1956年(昭和31年)80歳で死去。

石川三四郎は本庄市出身のアナーキストであり社会思想家。旧姓は五十嵐。別名・旭山、不尽。図書館では「石川三四郎資料室」を創設し、遺族より寄贈された三四郎の著作物のほか、直筆原稿・書簡などを常設展示しています。

石川三四郎は、1902年に記者として万朝報社に入社以来、堺 利彦、幸徳秋水、木下尚江、内村鑑三、田中正造、福田英子、荒畑寒村等と運動を共にしながら、論説者・発行者・編集者として活躍しました。三四郎が残した月刊「ディナミック」(1929年発行)他の資料は、散逸が激しく、残存資料が少ない時代の資料として、また、明治・大正・昭和のアナキズムの流れを知る上での重要な資料となっています。また、海外脱出をした三四郎が出会った、カーペンター、ポール・ルクリュ、エリゼ・ルクリュ、他、学者、知識人との交友の記録も日本では数少ない大変貴重な資料です。

三四郎独自の思想形成に深い影響を与えた、約4,000点の石川三四郎関連資料は、国の内外から訪れる人々の研究に利用されています。



## 俳諧資料

### 戸谷双鳥について

1774年(安永3年)～1849年(嘉永2年)

江戸時代中後期武蔵国本庄宿において、中央俳壇と地方俳壇の媒介的役割をしつつ、蘭更、月居、一茶等の俳人と交流があった豪商です。本庄宿では戸谷家を中心に多くの俳人たちの交流がありました。当館には当時の俳諧資料(写)が約250点保存されています。



#### 主な俳諧資料

- ・奉納其三集(蘭更)
- ・ありのとう(巢兆)
- ・くろねぎ(長翠)
- ・さらば笠(一茶)
- ・せりのね(以鳩)
- ・はなのつと(鹿古)
- ・牛曳集(双鳥)
- ・せみ塚集(冥々)
- ・碩布発句集(逸淵)
- ・諸郡銘録
- ・小蓑庵月並草稿

## 『群書類従』

### 塙保己一について

1746年(延享3年)～1821年(文政4年)江戸時代中期の国学者で、現在の児玉町保木野に生まれました。7歳の時失明、15歳で江戸に出て国学を学びます。学問に精進した結果、学者としての名声も上がり、38歳で検校(盲人の最高位)となります。

寛政5年(1793年)幕府保護のもとに江戸番町に和学講談所をたて、多くの門人を養成しました。またここを拠点に『群書類従』の編纂を行い、水戸藩からの『大日本史』の校正依頼をはじめ数々の資料等の編集事業を行いました。『群書類従』の編纂は貴重な古典籍が散逸していくのを嘆いた保己一が生涯をかけて取り組んだ一大事業で、記録や手紙にいたるまで数多くの資料を集めて、校訂・分類し、版木本666冊にして足かけ41年をかけて刊行し、文政2年(1819)に完成しました。保己一の残した数千にもおよぶ書物は今でも日本文学を研究するうえで欠かすことのできない貴重な資料となっています。



本庄出身者関連著作物を収集しています

新井 淳(映画俳優) 卜部喜太郎(弁護士) 小林菊重(詩人) 滝本金蔵(登別温泉開拓者) 竹越三又(歴史学者) 長沼依山(童話作家) 茂木小平(養蚕家) 飯島貞(詩人) 四方田草炎(画家) 岡本潤(詩人) 宇野信夫(劇作家・演出家) 藤田三郎(詩人) 月村敏行(詩人・文芸評論家) 他、松崎移翠(詩人) 水島治平(郷土史家) 小暮雪堂(文人) 高田漣五郎(歌人) 本庄晋一(医師) 諸井恒平(実業家) 金井総兵衛 桐共(算学) 他

# 令和6年度 事業報告

## 一般対象

実施日	事業名	内 容	参加人数
7月～8月	読書講座(本館)	「くずし字で読む 伊勢物語」(全5回) 講師:吉田 茂 氏	延 111人
10月19日	文芸講演会(本館)	「金鑽神社奉納俳句と言葉あそび」 講師:柴崎 起三雄氏 全編をケーブルテレビで放映。	15人
11月14日	DVD上映会(本館)	「草の乱」を上映。 上映前後に秩父事件に関係した本を紹介。	20人
2月2日	読書講座(本館)	秩父事件考「弾痕が残る格子戸は語る」	37人
2月5、12、 19日	ブックスタートボラ ンティア養成講座 (本館)	講師:大津 智美 氏	延 58人

## 児童対象

実施日	事業名	内 容	参加人数
4月～3月	おはなし会	本館:毎月第2・4土曜日、児玉分館:毎月第2土曜日。 絵本の読み聞かせや紙芝居を実施。 ※参加人数にはおはなしのつどい(児玉分館)、夏休みおはなし 会(本館)等を含む。	延 496人
4月～3月	ブックスタート (本館)	保健センターでの10か月児健康相談時にブックスタートパック (絵本、コットンバッグ、パンフレット)を渡した。	797人
4月～3月	絵本とわらべうたの おはなし会	本館:毎月第1木曜日、児玉分館:毎月第2水曜日。 絵本の読み聞かせとわらべうたを歌う。	延 167人
5月2日～ 5月30日	こどもの読書週間特 別展示「長く愛される 本の世界」(本館)	長く愛される本」をテーマにした児童書(岩波の子どもの本・か がくのとも絵本シリーズ)の展示・貸出を実施	-
6月～2月	出張おはなし会	小学校1年生を対象に学校でおはなし会を実施。	延 687人
7月26日	夏休み手作り工作 教室(本館)	小学生を対象にした工作教室「世界に1冊だけの本を作ろう」を 実施。	21人
7月31日	こども書道教室 (児玉分館)	小学生を対象にした「こども書道教室」を実施。	11人
8月～3月	DVD上映会(本館)	小学生を対象にしたDVD上映会。「化けくらべ他2作」「ムーミ ン、魔法の巻全10話」「ふしぎ駄菓子屋銭天堂」を上映(計3回 実施)。	延 101人
5月～2月	図書館見学 (本館・児玉分館)	小学校7校、保育園4園が図書館見学。	504人

## 文芸講演会の記録

実施年月日	テ ー マ	講 師	会 場	参加人員
昭和57.11.	小説を読むということ	河野 多恵子(作家)	中央公民館	
昭和58. 2.	文献に基づく戦後における埼玉の文学	小林 鶴男(県立浦和図書館長)	市立図書館	54
昭和58. 9.25(日)	わが人生わが文学	上田 三四二(作家)	市立図書館	48
昭和59.12.	名も無き戦犯の妻たち ※1	上坂 冬子(作家)	中央公民館	
昭和60. 3.23(土)	「炎の谷」秩父事件始末記	下山 二郎(郷土史家)	市立図書館	55
昭和60.11. 9(土)	「斉藤茂吉」の晩年の師弟	田中 隆尚(歌人・元群馬大学教授)	市立図書館	48
昭和61.11.	生きる ※2	藤原 てい(作家)	中央公民館	
昭和62. 2.7(土)	日本からみたフランス フランスからみた日本	井田 三夫(慶応大学教授)	市立図書館	120
昭和62.11.28(土)	わたしが母からもらったもの ※3	西村 滋(作家)	中央公民館	320
昭和63.11.12(土)	絵と人生	窪島 誠一郎(信濃デッサン館主・文筆家)	市立図書館	180
平成元.11.25(土)	文壇雑学	山本 容朗(文芸評論家)	市立図書館	100
平成 2.10.27(土)	私の詩と人生	大木 実(詩人)	市立図書館	80
平成 3.11.30(土)	いのちの贈り物	重兼 芳子(作家)	中央公民館	165
平成 4.10.24(土)	異色の画家・四方田草炎の生涯	海老原 友忠(美術評論家)	市立図書館	70
平成 5.10. 9(土)	夏目漱石を読む	岡 三郎(青山学院大学教授)	市立図書館	140
平成 6.10. 8(土)	松尾芭蕉の実像を求めて	田中 義政(与野市立図書館長)	市立図書館	98
平成 7.10. 7(土)	漱石「坊っちゃん」を読む	半藤 一利(作家)	市立図書館	115
平成 8.10.19(土)	城を見歩く楽しみ	片桐 幸雄(前立教大学教授)	市立図書館	113
平成 9.10.19(土)	漱石書簡の魅力	紅野 敏郎(早稲田大学名誉教授)	福社会館	93
平成10.11. 7(土)	源氏物語の魅力	冬木 格(作家・格亭企画主宰)	市立図書館	106
平成11.10.30(土)	今、伝えたいこと ※4	山崎 朋子(作家・女性史研究者)	本庄市役所	150
平成12.10.29(日)	モロッコの石川三四郎とその後	山口 晃(駒沢大学講師・英語塾経営)	市立図書館	86

実施年月日	テーマ	講師	会場	参加人員
平成13.10.27(土)	小説「フィクション」を書く	関口 芙沙恵(推理作家)	市立図書館	88
平成14.11.17(日)	縁切寺を素材とした時代小説	高木 侃(大学教授)	市立図書館	92
平成15.11.22(土)	平家物語の女性たち	青木 美枝(古典文学講座講師)	市立図書館	108
平成16.11.13(土)	漱石文学の中の家族関係	岡 三郎(青山学院大学名誉教授)	市立図書館	108
平成17.11.19(土)	幕末の郷土『修羅の川』を生きた人々	関口 芙沙恵(推理作家)	市立図書館	106
平成18.11.18(土)	石川三四郎企画展記念特別講演会	北沢 文武(『石川三四郎と思想』の著者)	市立図書館	90
平成19.11.18(日)	宮中の食文化と日本の食事情	谷部 金次郎(昭和天皇和食担当)	市立図書館	116
平成20.11.15(土)	60年代の詩と高橋秀一郎	郷原 宏(詩人・文芸評論家)	市立図書館	91
平成21.11. 8(日)	郷土から世界を見つめていた人 ヘンリーソローの日々	山口 晃(駒沢大学講師・英語塾経営)	市立図書館	50
平成22.11.19(土)	文芸同人誌とこだま文学会	松本 鶴雄(文芸評論家)	市立図書館	52
平成23.11.20(土)	みんなでいっしょ 連句のはなし	宇咲 冬男(俳人・作家)	市立図書館	49
平成24.10.20(土)	『孤独の力』～詩人の作品をとおして	北畑 光男(詩人)	市立図書館	60
平成25.11. 7(日)	『石川三四郎の思想入門』～21世紀のものの考え方	岡 三郎(青山学院大学名誉教授)	市立図書館	89
平成26.11. 9(日)	漫画家と母親になって	アキヤマ 香(漫画家)	市立図書館	74
平成28. 3. 5(土)	娘が語る詩人・吉野弘	久保田 奈々子(詩人 吉野弘の長女)	JAひびきの本店	94
平成29. 1.28(土)	田島弥平と郷土の人々	関口 芙沙恵(推理作家)	市立図書館	100
平成29.11.18(土)	中山道本庄宿	柴崎 起三雄(郷土史家)	市立図書館	65
平成30.11.17(土)	宮沢賢治を読みなおす -「雨ニモマケズ」の読解-	須藤 与志(『泥塑賢治』の著者・元教員)	市立図書館	62
令和元.11.9(土)	「文学作品にみる本庄のすがた」～知らなかった本庄のこぼれ話あれこれ～ -「雨ニモマケズ」の読解-	本田 豊(武蔵野史学会代表・元埼玉県史編さん委員)	市立図書館	60
令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催しなかった				
令和3. 11.20(土)	群書類従を語る ※5	荒井 一夫(総検校塙保己一先生遺徳顕彰会事業部委員)	市立図書館	※6 15
令和4. 11.5(土)	備前堀の歴史 ※5	茂木 悟(本庄市文化財保護審議会委員)	市立図書館	※6 25
令和5. 10.21(土)	秩父事件と高山社蚕業学校 -金屋戦争の歴史的意義を考える※5	黒沢 正則(秩父事件研究顕彰協議会会員)	市立図書館	76
令和6.10.19(土)	金鑽神社奉納俳句と言葉あそび※5	講師:柴崎起三雄(郷土史家)	市立図書館	15

- ※1.2.3 県立図書館との共催事業  
 ※4 本庄市男女参画講演会との共催事業  
 ※5 講演内容を本庄ケーブルテレビで放映  
 ※6 コロナ禍による参加人員の制限有

# 統計早見表

令和6年度

蔵書数 254,420 点

●一般図書 122,371 冊

●児童図書 93,979 冊

(うち紙芝居 2,927 冊)

●資料図書 26,992 冊

●雑誌 7,046 冊

●AV資料 4,032 点

(録音図書を含む)

年間貸出点数 300,104 点

※団体貸出含む

●一般図書 127,524 冊

●児童図書 149,633 冊

(うち紙芝居 5,869冊)

●資料図書 3,713 冊

●雑誌 15,996 冊

●AV資料 3,238 点

(録音図書を含む)

入館者数 128,029 人

年間図書館利用者数 76,948 人※

※貸出人数、催し物人数、レファレンス件数、コピー件数の合計

新規登録者 1,650 人

(うち12歳まで650人)

年間図書購入冊数 6,814 冊

●一般図書 4,254 冊

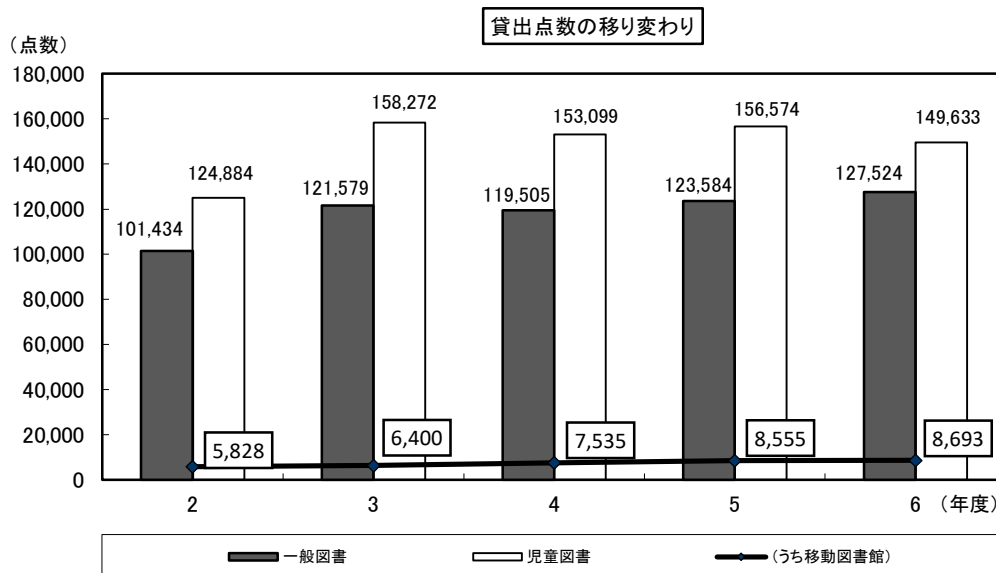
●児童図書 2,388 冊

(うち紙芝居 38冊)

●資料図書 172 冊

年間図書受入冊数 7,770 冊

年間除籍冊数 6,033 冊



# 年度別図書館指標

	令和6年度(※)		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度						
	点		点		点		点		点						
市民1人当りの貸出点数	3.9	貸出点数	300,104	3.9	貸出点数	302,965	3.8	貸出点数	293,556	3.9	貸出点数	300,202	3.1	貸出点数	243,953
		人口	76,429		人口	77,013		人口	77,473		人口	77,552		人口	77,793
蔵書回転率	1.18	貸出点数	300,104	1.20	貸出点数	302,965	1.17	貸出点数	293,556	1.21	貸出点数	300,202	0.99	貸出点数	243,953
		蔵書冊数	254,420		蔵書冊数	252,419		蔵書冊数	249,873		蔵書冊数	248,552		蔵書冊数	246,898
市民1人当りの図書購入冊数	0.089	年間購入冊数	6,814	0.091	年間購入冊数	6,999	0.083	年間購入冊数	6,444	0.090	年間購入冊数	6,960	0.086	年間購入冊数	6,679
		人口	76,429		人口	77,013		人口	77,473		人口	77,552		人口	77,793
市民1人当りの資料点数	3.3	蔵書冊数	254,420	3.3	蔵書冊数	252,419	3.2	蔵書冊数	249,873	3.2	蔵書冊数	248,552	3.2	蔵書冊数	246,898
		人口	76,429		人口	77,013		人口	77,473		人口	77,552		人口	77,793
市民1人当りの資料費	229	資料購入費	17,539,483	227	資料購入費	17,516,690	225	資料購入費	17,445,629	218	資料購入費	16,874,775	213	資料購入費	16,570,233
		人口	76,429		人口	77,013		人口	77,473		人口	77,552		人口	77,793
職員1人当りの貸出点数	13,048	貸出点数	300,104	14,427	貸出点数	302,965	15,450	貸出点数	293,556	15,800	貸出点数	300,202	12,840	貸出点数	243,953
		職員数	23		職員数	21		職員数	19		職員数	19		職員数	19
1日平均貸出点数	1,038	貸出点数	300,104	1,038	貸出点数	302,965	1,052	貸出点数	293,556	1,035	貸出点数	300,202	996	貸出点数	243,953
		開館日数	289		開館日数	292		開館日数	279		開館日数	290		開館日数	245
貸出コスト	565	図書館総経費	169,559,153	504	図書館総経費	152,674,743	478	図書館総経費	140,321,909	503	図書館総経費	151,085,084	596	図書館総経費	145,324,527
		貸出点数	300,104		貸出点数	302,965		貸出点数	293,556		貸出点数	300,202		貸出点数	243,953
1日の経費	586,710	図書館総経費	169,559,153	522,859	図書館総経費	152,674,743	502,946	図書館総経費	140,321,909	520,983	図書館総経費	151,085,084	593,161	図書館総経費	145,324,527
		開館日数	289		開館日数	292		開館日数	279		開館日数	290		開館日数	245

(※)令和6年度について

本庄市人口(令和7年3月31日現在) 76,429 人

開館日数(令和6年度)本館289日 児玉分館287日

・1日あたりのデータについては開館日数が多い、本館のもの(289日)で算出

## 蔵書構成表

●図書

	令和6年度					令和5年度					令和4年度				
	一般	児童	資料	計	%	一般	児童	資料	計	%	一般	児童	資料	計	%
総記	2,984	1,642	3,600	8,226	3.4	2,960	1,619	3,598	8,177	3.4	2,901	1,574	3,549	8,024	3.4
哲学	4,966	807	810	6,583	2.7	4,939	831	751	6,521	2.7	4,921	777	795	6,493	2.7
歴史	11,930	4,195	8,028	24,153	9.9	11,715	4,237	7,811	23,763	9.8	11,426	3,799	7,839	23,064	9.7
社会科学	14,227	5,140	6,697	26,064	10.7	14,224	5,185	6,720	26,129	10.8	14,231	4,860	6,732	25,823	10.8
自然科学	8,828	9,494	816	19,138	7.9	8,767	9,322	761	18,850	7.8	8,692	9,039	765	18,496	7.7
技術	9,993	3,354	1,094	14,441	5.9	9,928	3,342	982	14,252	5.9	9,812	3,293	1,005	14,110	5.9
産業	4,409	2,177	1,039	7,625	3.1	4,405	2,167	999	7,571	3.1	4,470	2,122	1,014	7,606	3.2
芸術	11,645	5,174	1,543	18,362	7.5	11,413	5,136	1,507	18,056	7.5	11,289	5,084	1,492	17,865	7.5
言語	2,632	1,298	431	4,361	1.8	2,640	1,251	428	4,319	1.8	2,590	1,218	427	4,235	1.8
文学	50,757	26,976	2,934	80,667	33.1	50,793	26,914	2,927	80,634	33.4	50,583	26,834	2,922	80,339	33.7
絵本	0	30,795	0	30,795	12.7	0	30,356	0	30,356	12.6	0	29,753	0	29,753	12.5
紙芝居	0	2,927	0	2,927	1.2	0	2,910	0	2,910	1.2	0	2,860	0	2,860	1.2
その他	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0
計	122,371	93,979	26,992	243,342	100.0	121,784	93,270	26,484	241,538	100.0	120,915	91,213	26,540	238,668	100.0

●雑誌

(冊)

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
合計	7,046	7,097	7,486

●視聴覚資料

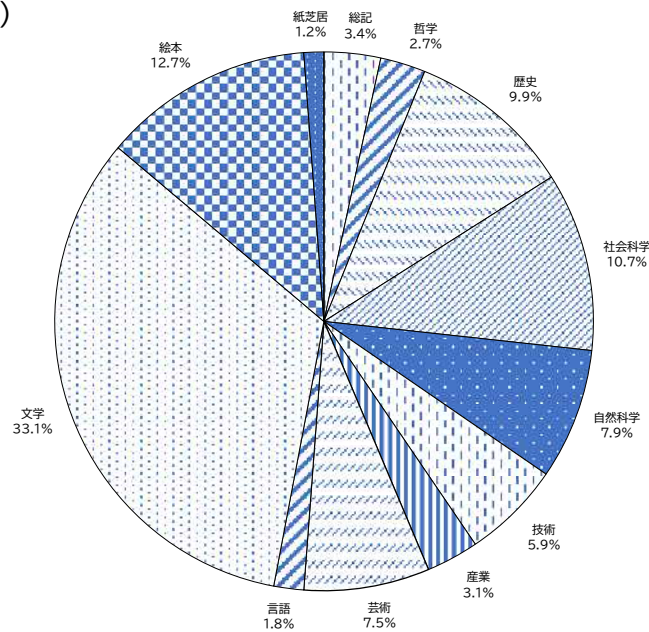
(点)

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
C D	2,635	2,437	2,388
L D・D V D	741	713	732
ビデオ	475	512	514
C T	2	2	2
その他	179	120	0
計	4,032	3,784	3,636

●障害者サービス資料(内数)

録音資料	146	タイトル	146	点
点字資料	190	タイトル	671	冊

### 蔵書構成(図書)

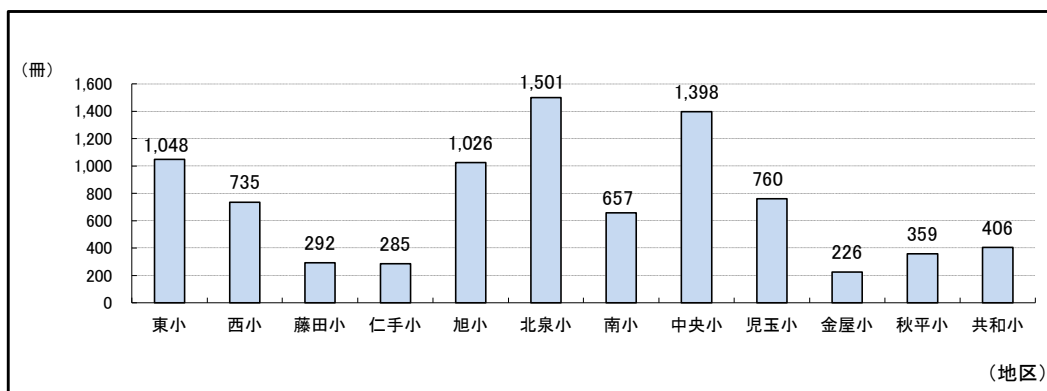


## 移動図書館利用状況

\*団体貸出を除く

地区名	東小地区	西小地区	藤田小地区	仁手小地区	旭小地区	北泉小地区	
利用者人数 (人)	694	464	166	152	564	789	
貸出冊数 (冊)	1,048	735	292	285	1,026	1,501	
地区名	南小地区	中央小地区	児玉小地区	金屋小地区	秋平小地区	共和小地区	合計
利用者人数 (人)	328	941	302	224	132	183	4,939
貸出冊数 (冊)	657	1,398	760	226	359	406	8,693

移動図書館貸出冊数



## 広域利用状況

自治体名	利用者区分	利用者人数	貸出数		
			図書資料及び雑誌	AV資料等	合計
美里町	児童	28	3,334	15	3,349
	一般	641			
	合計	669			
神川町	児童	70	5,457	81	5,538
	一般	1,045			
	合計	1,115			
上里町	児童	152	8,946	188	9,134
	一般	1,649			
	合計	1,801			
深谷市	児童	116	4,851	139	4,990
	一般	819			
	合計	935			
伊勢崎市	児童	25	3,098	53	3,151
	一般	439			
	合計	464			
合計	児童	391	25,686	476	26,162
	一般	4,593			
	合計	4,984			

● レファレンスサービス状況

	口頭・読書案内 件	電話・文書 件	合計 件	1日平均件数 件
6年度	4,005	34	4,039	14.0
5年度	3,768	17	3,785	13.6
4年度	3,099	16	3,115	10.7

● 相互貸借冊数

借 受 冊		貸 出 冊	
6年度	1,863	6年度	2,866
5年度	2,149	5年度	2,822
4年度	1,580	4年度	2,429

● AV館内利用状況

	児童 人	一般 人	合計 人	回数 回	1日平均人数 人
6年度	31	29	60	42	0
5年度	88	37	125	91	0
4年度	6	1	7	2	0

● コピーサービス枚数

	6年度 枚	5年度 枚	4年度 枚	3年度 枚
枚数	3,460	2,720	2,265	3,532
1日平均	12	9	8	12

開館日数(令和6年度)本館289日 児玉分館287日  
 ※1日あたりのデータについては開館日数が多い、本館のもの(289日)で算出

# 令和6年度 貸出ベストリーダー (令和6年4月1日～令和7年3月31日)

## 本館一般書ベスト20

順位	タイトル	著者	出版社
1	誰でも読める日本古代史年表	吉川弘文館編集部	吉川弘文館
2	図説近世城郭の作事 櫓・城門編	三浦 正幸	原書房
3	国別城郭・陣屋・要害・台場事典	西ヶ谷 恭弘	東京堂出版
4	日本城郭体系 5		新人物往来社
5	成瀬は天下を取りに行く	宮島 未奈	新潮社
6	白鳥とコウモリ	東野 圭吾	幻冬舎
7	あなたが誰かを殺した	東野 圭吾	講談社
8	52ヘルツのクジラたち	町田 そのこ	中央公論新社
	書いてはいけない	森永 卓郎	三五館シンジャ
	あいにくあんたのためじゃない	柚木 麻衣	新潮社
11	国別藩と城下町の事典	二木 謙一	東京堂出版
	変な家 2	雨穴	飛鳥新社
13	ブラック・ショーマンと覚醒する女たち	東野 圭吾	光文社
	成瀬は信じた道をいく	宮島 未奈	新潮社
15	俺たちの箱根駅伝 上	池井戸 潤	文藝春秋
16	透明な螺旋	東野 圭吾	文藝春秋
	汝、星のごとく	凧良 ゆう	講談社
	風に立つ	柚月 裕子	中央公論新社
	俺たちの箱根駅伝 下	池井戸潤	文藝春秋
	spring	恩田 陸	筑摩書房
	クスノキの女神	東野 圭吾	美業之日本社

## 本館児童書ベスト20

順位	タイトル	著者	出版社
1	がたんごとんがたんごとん	安西 水丸	福音館書店
2	わたしのワンピース	にしまき かやこ	こぐま社
3	ぞうくんのさんぽ	なかの ひろたか	福音館書店
4	11ぴきのねことどろんこ	馬場 のぼる	こぐま社
5	11ぴきのねこ	馬場 のぼる	こぐま社
6	もこもこもこ	谷川 俊太郎	文研出版
	きんぎょが にげた	五味 太郎	福音館書店
8	11ぴきのねことあほうどり	馬場 のぼる	こぐま社
	11ぴきのねこ ふくろのなか	馬場 のぼる	こぐま社
10	100かいだてのいえ	いわい としお	偕成社
	ちか100かいだてのいえ	いわい としお	偕成社
12	くいしんぼうのはなこさん	いしい ももこ	福音館書店
	おふろだいすき	松岡 享子	福音館書店
	からすのパンやさん	かこ さとし	偕成社
15	11ぴきのねことぶた	馬場 のぼる	こぐま社
16	はれときどきぶた	矢玉 四郎	岩崎書店
	じゃあじゃあびりびり	まつい のりこ	偕成社
18	きょうはなんのひ？	瀬田 貞二	福音館書店
	しろくまちゃんのほっとけーき	わかやま けん	こぐま社
20	まるくておいしいよ	こにし えいこ	福音館書店
	がたんごとんがたんごとんざぶんざぶん	安西 水丸	福音館書店

# 令和6年度 貸出ベストリーダー (令和6年4月1日～令和7年3月31日)

## 分館一般書ベスト20

順位	タイトル	著者	出版社
1	達人が教える！農家直伝おいしい野菜づくり	加藤 正明	永岡書店
	脊柱管狭窄症自力で克服！腰の名医が教える最新1分体操大全		文響社
	「老眼」がみるみる良くなる1分ビジョントレーニング	北出 勝也	三笠書房
	一夜	今野 敏	新潮社
	年金のしくいともらい方 24-25年版	小林労務	ナツメ社
6	脊柱管狭窄症腰の名医20人が教える最高の治し方大全		文響社
	魔女と過ごした七日間	東野 圭吾	KADOKAWA
8	兎は薄氷に駆ける	貴志 祐介	毎日新聞出版
	図説シヨパン	伊熊 よし子	河出書房新社
	シヨパンを嗜む	平野 啓一郎	音楽之友社
11	1日1分で腹が凹む	植森 美緒	ダイヤモンド社
	ハヤブサ消防団	池井戸 潤	集英社
	シヨパン	アダム・ザモイスキ	音楽之友社
14	烏は主を選ばない	阿部 智里	文藝春秋
	古本食堂	原田 ひ香	角川春樹事務所
	どこになにがあるか、すぐわかる収納術	飯田 久恵	大和書房
	仕事が早くなる！ダンドリ&整理術	日本能率協会マネジ メントセンター	日本能率協会マ ネジメントセン ター
	仕事が早くなる！ノート・メモ・手帳&文具術	日本能率協会マネジ メントセンター	日本能率協会マ ネジメントセン ター
	60歳からの「紙モノ」整理	渡部 亜矢	青春出版社
	「名前が出てこない」「忘れっぽくなった」人のお助けBOOK	加藤 俊徳	主婦の友社
	スピノザの診察室	夏川 草介	水鈴社
	絡新婦の糸	中山 七里	新潮社
	るるぶ京都 '25		JTBパブリッシング
ドクター・デスの再臨	中山 七里	KADOKAWA	

## 分館児童書ベスト20

順位	タイトル	著者	出版社
1	はらぺこあおむし	エリック=カール	偕成社
2	いちごです	川端 誠	文化出版局
3	メロンパンナのぐーぐー	やなせ たかし	フレーベル館
4	バムとケロのもりのこや	島田 ゆか	ブロンズ新社
5	だるまさんと	かがくいひろし	ブロンズ新社
	だるまさんが	かがくいひろし	ブロンズ新社
	うみの100かいだてのいえ	いわい としお	偕成社
8	ドキンちゃんとまくらこぞう	やなせ たかし	講談社
	ぬまの100かいだてのいえ	いわい としお	偕成社
10	ふしぎ駄菓子屋銭天堂20	廣嶋 玲子	偕成社
	バムとケロのおかいもの	島田 ゆか	文溪堂
	おおきなかぶ	A.トルストイ	福音館書店
	NEWウォーリーをさがせ！	マーティン ハ ンドフォード	フレーベル館
	おばけのばあ	せな けいこ	KADOKAWA
15	100かいだてのいえ	いわい としお	偕成社
	ちか100かいだてのいえ	いわい としお	偕成社
	おつきさまこんばんは	林 明子	福音館書店
	シヨパン	パム・ブラウン	偕成社
	シヨパン	ひの まどか	ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス
	がっこうのおばけずかん	斉藤 洋	講談社

# 令和7年度 雑誌リスト

一般		発行	保存	出版社	所蔵(本館)	所蔵(分館)		
ア	1	AERA	週刊	1年	朝日新聞出版	一般室		
	2	あした	隔月	永年	あしたの会	一般室		
	3	明日の友	隔月	2年	婦人之友社	一般室		
	4	an・an	週刊	1年	マガジンハウス		○	
	5	&Premium	月刊	1年	マガジンハウス	一般室		
	6	VERY	月刊	1年	光文社	一般室		
	7	潮	月刊	2年	潮出版社		○	
	8	栄養と料理	月刊	2年	女子栄養大学出版部	一般室		
	9	ESSE	月刊	2年	扶桑社	一般室		
	10	LDK	月刊	2年	晋遊舎	一般室		
	11	エルデコ	不定	2年	ハースト婦人画報社	一般室		
	12	男の隠れ家	月刊	1年	三栄書房		○	
	13	おとなの週末	月刊	1年	講談社	一般室		
	14	オレンジページ	月2	2年	オレンジページ	一般室	○	
カ	15	音楽の友	月刊	1年	音楽之友社	一般室		
	16	CAR and DRIVER	月刊	1年	ダイヤモンド社	一般室		
	17	会社四季報	季刊	2年	東洋経済新報社	カウンター		
	18	家庭画報	月刊	1年	世界文化社	一般室	○	
	19	キネマ旬報	月2	1年	キネマ旬報社	一般室		
	20	CAPA	月刊	1年	ワン・パブリッシング	一般室		
	21	きょうの健康	月刊	2年	NHK出版	一般室	○	
	22	きょうの料理	月刊	2年	NHK出版	一般室	○	
	23	暮らしの手帖	隔月	永年	暮らしの手帖社	一般室	○	
	24	暮らしの手帖(別冊)	不定	永年	暮らしの手帖社	一般室		
	25	クロワッサン	月2	1年	マガジンハウス	一般室		
	26	芸術新潮	月刊	5年	新潮社	一般室		
	27	月刊クーヨン	月刊	1年	クレヨンハウス	一般室		
	28	Get Navi	月刊	1年	学研パブリッシング	一般室		
	29	現代農業	月刊	2年	農山漁村文化協会	一般室		
	30	こどもとしゃかん	季刊	永年	東京こども図書館	一般室		
	31	こどもの図書館	月刊	永年	児童図書館研究会	一般室		
	32	子どもの本棚<2002年11月号まで>	月刊	永年	日本子どもの本研究会	雑誌閉架		
	33	この本読んで!	季刊	5年	出版文化産業振興財団	一般室		
	34	ゴルフダイジェスト	月刊	1年	ゴルフダイジェスト社		○	
	サ	35	碁ワールド	月刊	1年	日本棋院	一般室	
		36	THE GUNMA	月刊	2年	有限会社シンクリード	一般室	
37		サライ	月刊	1年	小学館	一般室		
38		散歩の達人	月刊	1年	交通新聞社		○	
39		JTB時刻表	年4	1年	JTBパブリッシング	カウンター		
40		週刊新潮	週刊	1年	新潮社	一般室		
41		週刊東洋経済	週刊	1年	東洋経済新報社	一般室		
42		週刊文春	週刊	1年	文藝春秋	一般室		
43		趣味の園芸	月刊	2年	NHK出版	一般室	○	
44		ジュリスト	月刊	5年	有斐閣	一般室		
45		将棋世界	月刊	1年	日本将棋連盟	一般室		
46		すてきにハンドメイド	月刊	2年	NHK出版	一般室	○	
47		Sports Graphic Number	隔週	1年	文藝春秋	一般室	○	
48		住まいの設計<2023年6月号まで>	隔月	2年	扶桑社	一般室		
49		相撲	月刊	1年	ベースボール・マガジン社	一般室		
50		世界	月刊	1年	岩波書店	一般室		
51		装苑	隔月	1年	文化出版局	一般室		
タ		52	壮快<2023年4月号まで>	月刊	2年	マキノ出版		○
	53	ダ・ヴィンチ	月刊	2年	KADOKAWA	一般室	○	
	54	旅の手帖	月刊	1年	交通新聞社	一般室		
	55	短歌	月刊	1年	角川グループパブリッシング	一般室		
	56	中央公論	月刊	1年	中央公論新社	一般室		
	57	つり人	月刊	1年	つり人社	一般室		
	58	デイズニーマン	月刊	2年	講談社	一般室		
	59	天然生活	月刊	1年	扶桑社		○	
	60	天文ガイド	月刊	1年	誠文堂新光社	一般室		
	61	driver	月刊	1年	八重州出版		○	
	62	NATIONAL GEOGRAPHIC	月刊	1年	日経ナショナル・ジオグラフィック社	一般室		

ナ	63	日経トレンディ	月刊	1年	日経BP社		○
	64	日経PC21	月刊	1年	日経BP社	一般室	
	65	日経マネー	月刊	1年	日経BP出版センター	一般室	○
	66	ニュースウィーク日本版	週刊	1年	CCCメディアハウス	一般室	
	67	Newton	月刊	1年	ニュートンプレス	一般室	
ハ	68	ノジュール	月刊	1年	JTBパブリッシング	一般室	
	69	俳句	月刊	2年	KADOKAWA	一般室	
	70	母の友<2025年3月号まで>	月刊	2年	福音館書店	一般室	
	71	日経ウーマン	月刊	2年	日経BP	一般室	
	72	ハルメク	月刊	2年	ハルメク	一般室	
	73	BE-PAL	月刊	1年	小学館	一般室	
	74	不死鳥	隔月	永年	本庄短歌会	一般室	○
	75	婦人公論	月刊	1年	中央公論新社	一般室	○
	76	武道	月刊	2年	日本武道館	一般室	
	77	部落解放	月刊	1年	解放出版社	一般室	
	78	BRUTUS	月刊	1年	マガジンハウス	一般室	
	79	PRESIDENT	隔週	1年	プレジデント社	一般室	
	80	文学界	月刊	2年	文藝春秋	一般室	
	81	文化財	月刊	5年	第一法規	一般室	
	82	文芸埼玉	年2	永年	さいたま文学館	一般室	○
	83	文藝春秋	月刊	1年	文藝春秋	一般室	○
	84	Baby-mo	季刊	1年	主婦の友社	一般室	
マ	85	Mart	月刊	1年	光文社		○
	86	毎日が発見<2024年4月号まで>	月刊	1年	毎日が発見	一般室	
	87	武蔵野ペン	季刊	永年	川越ペンクラブ	一般室	
	88	MOE	月刊	2年	白泉社	一般室	
	89	やさいの時間	隔月	2年	NHK出版	一般室	
ヤ	90	山と溪谷	月刊	1年	山と溪谷社	一般室	○
	91	ゆうゆう	月刊	1年	主婦の友社		○
ラ	92	LEE	月刊	1年	集英社		○
	93	旅行読売	月刊	1年	旅行読売出版		○
	94	林間	月刊	永年	林間短歌会	一般室	
	95	歴史街道	月刊	1年	PHP研究所	一般室	○

#### 児童

1	宇宙のとびら	季刊	2年	JAXA宇宙教育センター	児童YA	
2	かがくのとも	月刊	永年	福音館書店	児童室	○
3	子供の科学	月刊	2年	誠文堂新光社	児童YA	
4	こどものとも	月刊	永年	福音館書店	児童室	○
5	こどものとも0.1.2	月刊	永年	福音館書店	児童室	○
6	サンチャイルドビッグサイエンス	月刊	5年	チャイルド本社	児童室	
7	SEVENTEEN	季刊	1年	小学館	児童YA	
8	たくさんのふしぎ	月刊	永年	福音館書店	児童室	
9	ちいさなかがくのとも	月刊	永年	福音館書店	児童室	
10	non・no	月刊	1年	集英社	児童YA	○
11	FINE BOYS	月刊	2年	日之出出版	児童YA	

#### 図書館関係

1	現代の図書館	季刊	永年	日本図書館協会	雑誌閉架	
2	図書館雑誌	月刊	永年	日本図書館協会	雑誌閉架	
3	図書館の学校	季刊	永年	図書館復興財団	雑誌閉架	
4	みんなの図書館	月刊	0年	教育史料出版会	雑誌閉架	

#### 館内利用

1	埼玉県議会会議録	季刊	5年	埼玉県議会	雑誌閉架	
2	埼玉県史研究<2000年3月号まで>	随時	永年	埼玉県県民部	雑誌閉架	
3	埼玉史談	季刊	永年	埼玉県郷土文化会	雑誌閉架	
4	埼玉自治<2005年5月号まで>	月刊	永年	埼玉県自治研究会	雑誌閉架	
5	埼玉タイムス<1997年3月号まで>	月刊	永年	週刊埼玉タイムス	雑誌閉架	
6	スポーツ埼玉<2004年まで>	季刊	永年	埼玉県体育協会	雑誌閉架	
7	短歌文学<1983年12月号まで>	随時	永年	短歌文学社	雑誌閉架	
8	利根<2010年3月号まで>	月刊	永年	利根俳句会	雑誌閉架	
9	埴<2012年3月号まで>	隔月	永年	ポエム・ビル	雑誌閉架	
10	ももんが<2007年1月号まで>	月刊	永年	乙骨書店	雑誌閉架	

# 令和7年度 新聞リスト

## 本館

1	朝日新聞	8	The Japan Times
2	埼玉新聞	9	毎日新聞
3	産経新聞	10	毎日小学生新聞
4	週刊読書人	11	読売新聞
5	スポーツニッポン	12	読売中高生新聞
6	東京新聞	13	朝日中高生新聞
7	日本経済新聞		

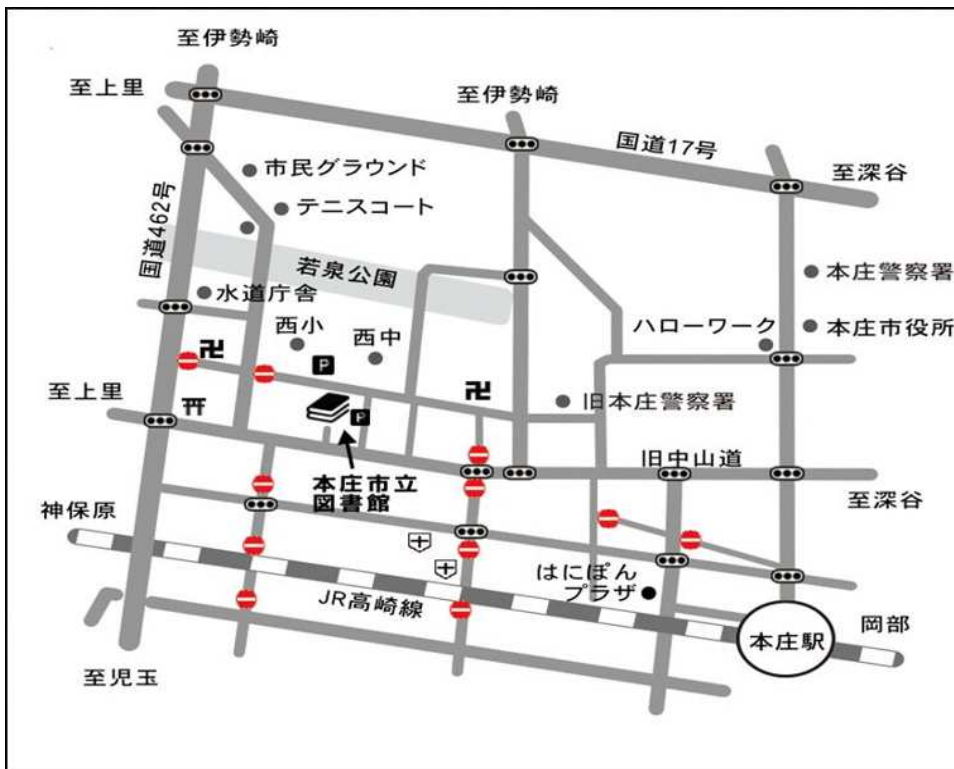
## 児玉分館

1	朝日新聞
2	埼玉新聞
3	産経新聞
4	スポーツ報知
5	日本経済新聞
6	毎日新聞
7	読売新聞

※ 新聞の保存期限は1年間です。朝日新聞・埼玉新聞は縮刷版を所蔵しています。

## 図書館案内図

### ○本館



### ○児玉分館



## ○本庄市立図書館設置及び管理に関する条例

平成18年1月10日

条例第89号

改正 平成24年3月28日条例第13号

平成27年6月30日条例第28号

平成28年9月28日条例第29号

(設置)

第1条 市民の文化、教養、調査研究、レクリエーション等に資するため、図書館法（昭和25年法律第118号。以下「法」という。）第10条の規定に基づき、本庄市立図書館（以下「図書館」という。）を設置する。

2 図書館に分館及び巡回図書館を置くことができる。

(名称及び位置)

第2条 図書館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
本庄市立図書館	本庄市千代田4丁目1番9号
本庄市立図書館児玉分館	本庄市児玉町金屋728番地2

(休館日)

第3条 図書館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下この項において「休日」という。）に当たるときは、その日の直後の休日でない日）

(2) 1月1日から同月4日まで及び12月28日から同月31日までの日

(3) 館内整理日として12月を除く毎月末日（その日が日曜日、土曜日若しくは休日又は第1号に規定する休館日（以下この号において「休館日等」という。）に当たるときは、その日の直後の休館日等でない日）

(4) 特別整理期間（毎年2週間以内で本庄市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が定める期間）

2 教育委員会は、前項の規定にかかわらず、必要があると認めるときは、臨時に休館日を定め、又は休館日に開館することができる。

(利用時間)

第4条 図書館の利用時間は、午前9時30分から午後6時15分までとする。ただし、教育委員会は、必要があると認めるときは、これを変更することができる。

(利用の制限)

第5条 利用者が次の各号のいずれかに該当するとき、その他管理運営上支障があるときは、図書館資料及び施設の利用を禁止することができる。

(1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。

(2) 営利活動を目的とするとき。

(3) 公の秩序又は善良な風俗を乱したとき。

(損害賠償)

第6条 利用者は、自己の責めに帰すべき事由により、次の各号のいずれかに該当したときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めるときは、賠償額を減額し、又は免除することができる。

(1) 図書館の資料を亡失し、又は毀損したとき。

(2) 図書館の施設を滅失し、又は損壊したとき。

(職員)

第7条 図書館に館長並びに教育委員会が必要と認める専門的職員及び事務職員を置く。

(図書館協議会)

第8条 法第14条の規定に基づき、図書館に本庄市立図書館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会の委員（以下「委員」という。）の定数は8人とし、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が任命する。

3 委員の任期は2年とする。ただし、委員に欠員が生じたときの補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委任)

第9条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成18年1月10日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日の前日までに、合併前の本庄市立図書館条例（平成12年本庄市条例第9号）又は児玉町立図書館の設置及び管理に関する条例（平成7年児玉町条例第18号）の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、それぞれこの条例の相当規定によりなされたものとみなす。

附 則（平成24年3月28日条例第13号）

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則（平成27年6月30日条例第28号）

この条例は、平成27年11月4日から施行する。

附 則（平成28年9月28日条例第29号）

この条例は、平成29年1月21日から施行する。

## ○本庄市立図書館運営規則

平成18年1月10日  
教育委員会規則第21号

改正 平成18年10月3日教委規則第41号  
平成22年1月21日教委規則第1号  
平成28年4月22日教委規則第8号  
令和6年4月18日教委規則第2号

(趣旨)

第1条 この規則は、本庄市立図書館設置及び管理に関する条例（平成18年本庄市条例第89号）第9条の規定に基づき、本庄市立図書館（以下「図書館」という。）の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(事業)

第2条 図書館は、図書館法（昭和25年法律第118号）第3条に掲げる事業を行う。

(入館者の心得)

第3条 入館者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 所定の場所以外に図書館資料を持ち出さないこと。
- (2) 館内においては、静粛にし、他人に迷惑をかけること。
- (3) 所定の場所以外で飲食等をしないこと。

(館内利用等)

第4条 館内において図書館資料及び施設を利用しようとする者は、係員の指示に従うとともに、資料の利用にあつては所定の場所で利用するものとする。

(館外貸出し)

第5条 図書館資料の貸出しを受けられる者は、本庄市、深谷市、美里町、神川町及び上里町並びに群馬県伊勢崎市内に居住し、又は市内に通勤し、若しくは通学する者とする。

2 図書館資料の貸出しを受けられる団体は、市内の学校、事業所、機関及び団体（以下「団体等」という。）で構成員10人以上の団体等とする。

3 前2項の規定にかかわらず、館長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(利用カードの交付等)

第6条 前条の規定による館外貸出しを受けようとするものは、利用申込書を館長に提出して利用カードの交付を受けるとともに、利用の都度係員に提出するものとする。

2 利用カードの登録事項に変更があったとき、又は紛失し、若しくは毀損したときは、直ちにその旨を申し出て、訂正又は再交付を受けるものとする。

3 交付を受けた利用カードは、他人に貸与し、又は譲渡してはならない。

(資料の貸出し制限)

第7条 図書館で指定した図書館資料は、館外貸出しはしないものとする。ただし、館長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(貸出数及び期間)

第8条 図書館資料の貸出数及び期間は、次のとおりとする。

区分		貸出数	貸出期間
図書、雑誌及び紙芝居	個人	10点以内	15日以内
	団体等	50点以内	1月以内
視聴覚資料		1点	15日以内

(複写)

第9条 著作権法（昭和45年法律第48号）第31条第1項第1号の規定に基づき図書館資料の複写を請求しようとする者は、次の表に定める金額を負担するものとする。

金額	単色刷り1枚につき 10円
	多色刷り1枚につき 20円
備考	1 用紙の大きさは、産業標準化法（昭和24年法律第185号）第20条第1項に規定する日本産業規格によるA3、A4、B4又はB5とする。 2 用紙の両面を使用する場合は、片面を1枚として金額を算定する。

(寄贈)

第10条 図書館に図書館資料を寄贈しようとする者は、資料の種類、名題、員数、住所及び氏名を館長に申し出て、承認を得た後現品を提出するものとする。

(寄託)

第11条 図書館資料の寄託については、前条の規定を準用する。

- 2 寄託資料は、図書館所有資料と同様に扱い、寄託者の要求又は図書館の都合を考慮の上返却するものとする。
- 3 図書館は、寄託を受けた資料が天災、盗難その他避けることのできない災害により受けた損害に対してその責めを負わない。

(移動図書館)

第12条 移動図書館は、市内を巡回して図書館資料の貸出し及びその他奉仕を行う。

- 2 移動図書館の利用については、第4条から第8条までの規定を準用する。ただし、貸出期間は、団体等への貸出しを除き、第8条の規定にかかわらず次の巡回日までとする。

(その他)

第13条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、本庄市教育委員会が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成18年1月10日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規則の施行の日の前日までに、合併前の本庄市立図書館運営規則（平成12年本庄市教育委員会規則第5号）又は児玉町立図書館の設置及び管理に関する規則（平成7年児玉町教育委員会規則第7号）の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、それぞれこの規則の相当規定によりなされたものとみなす。

附 則（平成18年10月3日教委規則第41号）

この規則は、平成18年10月3日から施行する。

附 則（平成22年1月21日教委規則第1号）

この規則は、公布の日から施行し、改正後の本庄市立図書館運営規則の規定は、平成22年1月1日から適用する。

附 則（平成28年4月22日教委規則第8号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（令和6年4月18日教委規則第2号）

この規則は、令和6年6月1日から施行する。ただし、第3条の改正規定は、公布の日から施行する。

## ○本庄市立図書館協議会会議規則

平成18年1月10日  
教育委員会規則第23号

改正 平成30年6月26日教委規則第10号

(趣旨)

第1条 本庄市立図書館協議会（以下「協議会」という。）の会議は、この規則の定めるところによる。

(委員長及び副委員長)

第2条 協議会に委員長1人及び副委員長1人を置き、委員のうちからこれを互選する。

2 委員長は、会議の長となる。

3 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を行う。

(招集)

第3条 会議は、図書館長がこれを招集する。

(定足数)

第4条 会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

(会議の公開の可否等)

第5条 協議会の会議は、公開とする。ただし、公正かつ円滑な議事の運営に支障が生じると認められる場合であって、出席した委員の3分の2以上の多数で議決したときは、非公開とすることができる。

(会議の開催の事前公表)

第6条 協議会は、会議が開催される日の7日前までに、次に掲げる事項を記載した会議の開催予定を市のホームページにより公表するものとする。ただし、会議を緊急に開催する必要が生じたとき等やむを得ない場合は、この限りでない。

(1) 開催日時

(2) 開催場所

(3) 議題

(4) 傍聴人の定員及び傍聴の手続

(5) その他周知が必要な事項

(会議の傍聴等)

第7条 会議の公開は、会議の傍聴を希望する者に、当該傍聴を認めることにより行う。

2 協議会は、会議を傍聴する者に会議資料を提供するものとする。ただし、会議資料が貴重、高額、大量である等提供することが困難であるときは、当該会議資料を、会議が終了するまでの間、当該会議を行う場所に据え置き、閲覧に供することにより提供に代えることができる。

(通知)

第8条 会議に付議すべき議題は、あらかじめ委員に通知するものとする。

(表決)

第9条 議題に対し表決の必要ある場合には、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは議長がこれを決定する。

(会議録等の公表)

第10条 協議会は、会議録を作成し、会議資料とともに議決により非公開とした部分を除

いた上で、市のホームページにより公表するものとする。

(庶務)

第11条 協議会の庶務は、教育委員会図書館において処理する。

(委任)

第12条 この規則に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、協議会が別に定める。

附 則

この規則は、平成18年1月10日から施行する。

附 則 (平成30年6月26日教委規則第10号)

この規則は、公布の日から施行する。

---

### ○図書館協議会委員

(任期 令和9年4月30日まで)

職 名	氏 名	選 出 区 分
委 員 長	都丸 幸子	社会教育関係者
副委員長	宮塚 智子	家庭教育向上活動者
委 員	飯島 和彦	学校教育関係者
委 員	中田 守	学校教育関係者
委 員	安村 名央	社会教育関係者
委 員	山下 富美恵	家庭教育向上活動者
委 員	新井 美也子	学 識 経 験 者
委 員	函師 喜恵	公 募

令和 7 年度 図書館要覧

令和 7 年 12 月発行

編集・発行 本庄市立図書館

〒367-0054 本庄市千代田4-1-9

電 話 0495-24-3746

FAX 0495-24-3718